



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 テイカ株式会社

上場取引所

東

コード番号 4027 URL <https://www.tayca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 出井 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 総務部長 (氏名) 中務 康介

TEL 06-6943-6401

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	42,293	25.5	3,515	23.3	3,923	21.3	2,591	12.0
2022年3月期第3四半期	33,711	18.8	2,851	23.9	3,235	63.0	2,313	76.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,771百万円 (55.1%) 2022年3月期第3四半期 1,786百万円 (△50.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	111.83	—
2022年3月期第3四半期	99.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	78,029	53,200	67.6	2,276.22
2022年3月期	72,128	51,263	70.6	2,196.16

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 52,751百万円 2022年3月期 50,896百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2023年3月期	—	18.00	—		
2023年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,000	16.5	3,900	6.8	4,200	1.1	2,900	1.9	125.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 - ② ①以外の会計方針の変更： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更： 無
 - ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	25,714,414 株	2022年3月期	25,714,414 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,539,505 株	2022年3月期	2,539,291 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	23,175,049 株	2022年3月期3Q	23,175,526 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和対策により経済活動が正常化に向かい、景気は緩やかに持ち直しました。しかしながら、円安の進行、原燃料価格の高騰、米国や中国経済の下振れ懸念等により、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画「MOVING-10 STAGE 1」のもと、「変革による拡大」と「新素材の創出」に注力するとともに、製造原価の低減、業務効率の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、導電性高分子薬剤は高機能パソコンとスマートフォン向けコンデンサ需要減少の影響を受けて販売が低調であったものの、輸出を中心に汎用用途の酸化チタンや機能性微粒子製品の販売が回復したこと及び円安による為替換算の影響等により、売上高は422億9千3百万円（前年同期比25.5%増）となりました。営業利益は35億1千5百万円（前年同期比23.3%増）、経常利益は39億2千3百万円（前年同期比21.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億9千1百万円（前年同期比12.0%増）となりました。

セグメント別の業績につきましては、機能性材料事業の売上高は204億7千8百万円（前年同期比22.4%増）、電子材料・化成品事業の売上高は207億7千9百万円（前年同期比30.5%増）、その他の売上高は10億3千4百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産総額は、780億2千9百万円（前連結会計年度末比59億円増加）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が29億6千9百万円、原材料及び貯蔵品が23億1千9百万円、それぞれ増加したことによります。

負債合計は、248億2千9百万円（前連結会計年度末比39億6千3百万円増加）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が12億8千万円、長期借入金が22億5千7百万円、それぞれ増加したことによります。

純資産合計は、532億円（前連結会計年度末比19億3千6百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が17億5千7百万円増加し、その他有価証券評価差額金が8億2千3百万円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月11日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,060	12,510
受取手形及び売掛金	13,738	16,708
電子記録債権	350	333
商品及び製品	8,044	9,837
仕掛品	1,279	1,485
原材料及び貯蔵品	4,997	7,316
その他	831	672
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	42,300	48,860
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,421	6,796
機械装置及び運搬具（純額）	7,028	7,315
その他（純額）	3,796	3,358
有形固定資産合計	17,246	17,470
無形固定資産		
のれん	1,463	1,612
その他	164	135
無形固定資産合計	1,628	1,748
投資その他の資産		
投資有価証券	9,786	8,605
その他	1,186	1,364
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	10,953	9,949
固定資産合計	29,827	29,168
資産合計	72,128	78,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,873	8,153
短期借入金	2,906	3,735
未払法人税等	864	410
賞与引当金	360	203
その他	3,485	3,985
流動負債合計	14,490	16,488
固定負債		
長期借入金	2,100	4,357
退職給付に係る負債	3,152	3,146
その他	1,121	836
固定負債合計	6,374	8,340
負債合計	20,865	24,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	31,562	33,319
自己株式	△2,460	△2,460
株主資本合計	45,725	47,482
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,912	4,089
繰延ヘッジ損益	181	51
為替換算調整勘定	72	1,107
退職給付に係る調整累計額	4	21
その他の包括利益累計額合計	5,170	5,268
非支配株主持分	367	448
純資産合計	51,263	53,200
負債純資産合計	72,128	78,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	33,711	42,293
売上原価	26,424	34,069
売上総利益	7,287	8,224
販売費及び一般管理費	4,435	4,708
営業利益	2,851	3,515
営業外収益		
受取利息	2	5
受取配当金	206	226
為替差益	118	119
その他	86	106
営業外収益合計	413	458
営業外費用		
支払利息	21	38
棚卸資産廃棄損	4	10
その他	4	2
営業外費用合計	30	51
経常利益	3,235	3,923
特別利益		
出資金売却益	67	—
リース解約益	21	—
特別利益合計	88	—
特別損失		
固定資産除却損	152	196
特別損失合計	152	196
税金等調整前四半期純利益	3,171	3,726
法人税、住民税及び事業税	837	976
法人税等調整額	△6	119
法人税等合計	831	1,095
四半期純利益	2,340	2,631
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,313	2,591

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,340	2,631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△762	△823
繰延ヘッジ損益	49	△130
為替換算調整勘定	133	1,076
退職給付に係る調整額	26	17
その他の包括利益合計	△553	140
四半期包括利益	1,786	2,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,772	2,689
非支配株主に係る四半期包括利益	14	81

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	16,734	15,928	32,663	1,048	—	33,711
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	951	(951)	—
計	16,734	15,928	32,663	2,000	(951)	33,711
セグメント利益	741	1,885	2,627	220	4	2,851

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	機能性材料 事業	電子材料・ 化成品事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	20,478	20,779	41,258	1,034	—	42,293
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	1,018	(1,018)	—
計	20,478	20,779	41,258	2,053	(1,018)	42,293
セグメント利益	1,822	1,470	3,293	217	5	3,515

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、エンジニアリング等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。